

国際的に活躍できるエンジニアを育成するために

工学部および工学系大学院(工学院・情報科学研究科・総合化学院)では、グローバルに活躍できるエンジニアの育成を目指して、海外留学・海外インターンシップを積極的に支援しています。大学院工学院では、すべての授業や

研究指導を英語で行う「工学分野リーダー育成英語特別コース」を設置しており、多くの留学生とともに学ぶことができます。また、海外から多くの留学生を受け入れており、学内で国際交流できる機会がたくさんあります。

海外で研究してみたい!!

工学系教育研究センター(CEED)の海外インターンシップ支援事業

<http://www.ceed.eng.hokudai.ac.jp/>

工学部および工学系大学院(工学院・情報科学研究科・総合化学院)では、毎年約30~40人が、夏休み等の長期休暇を利用して、約1~3ヵ月の海外インターンシップを経験しています。この経費を、工学系大学院が独自に設置した工学系教育研究センター(CEED)が支援しています。

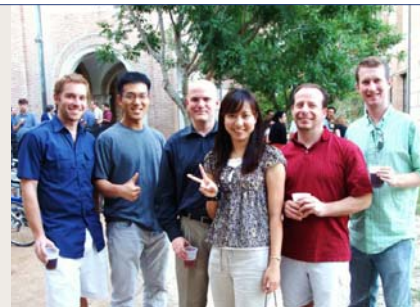


インターンシップ経験者の声

一歩踏み出す勇気が、大きな成長を生む。

夏休みの2ヵ月間を利用し、アメリカ合衆国テキサス州にあるライス大学でのインターンシップに参加しました。行ったのは、STMという顕微鏡を用いたカーボンナノチューブに関する研究で、北大での私の研究テーマとは異なるものでしたが、英語でのディスカッションや、海外の大学院生の研究に対する姿勢を見ることができ、とても良い刺激になりました。大学院では学生の半分程度が留学生で、アメリカだけではなくさまざまな国の友達ができ、それぞれの価値観や文化に触れることで視野が広がり、自分の考えや経験を積極的にアウトプットする力を磨くこと

ができました。研究以外にも、毎週のように1人1品ずつ料理を持ち寄ってパーティーをしたり、メジャーリーグなどスポーツ観戦に行ったりと、学外のアクティビティもたくさんあり、メリハリのある楽しい生活を送りました。このインターンシップを通して、一歩踏み出すことの素晴らしさを知りました。自分を成長させるチャンスはいくらでもあります。何もしなければ何も得られません。一歩先の自分を想像して、まず行動しましょう。得られるものは人によって違うと思いますが、その可能性は無限大だと思います。



堂腰 美妃さん
研究室の教授、学生たちと(中央が堂腰さん)
パナソニック株式会社
2009年3月 工学部応用理工系学科
応用マテリアル工学コース 卒業
2011年3月 大学院工学研究科 材料科学専攻
修士課程 修了

※大学院工学研究科・大学院工学院広報誌「えんじにあRing」No.383(2010年10月号)から転載

日本で世界中の学生とともに学べる!!

工学分野リーダー育成英語特別コース(e³プログラム)

<http://www.eng.hokudai.ac.jp/e3/>



大学院工学院の工学分野リーダー育成英語特別コース(English Engineering Education Program/略称e³プログラム)は、英語を使用言語として修士および博士の学位が取得できるプログラムです。一定の英語力さえあれば、世界各国の留学生とともに100を超えるバラエティーに富んだ英語での講義を受けることができます。

修士生の声

さまざまな国の留学生との、充実した大学院の日々。

e³の学生は、世界中から集まっています。ほとんどが各国のトップクラスの学生で、研究はもちろん、何事にも積極的に前向きな人ばかりでした。普通のコースを選択していれば、学部時代とあまり変わらない学生生活だったと思いますが、各国の留学生と触れ合うことで良い刺激を受け、充実した大学院生活を送ることができました。e³では年に数回パーティーがあり、夏には一緒に旅行します。パーティーの計画や進行も自分たちで行うので、大変なこともありましたが、それ以上に得られるもの

がたくさんありました。研究だけでなく、「楽しむときは楽しむ」という姿勢も、留学生に教えてもらった気がします。私は当時、英語が苦手だったのですが、彼らとのコミュニケーションで英語に触れる機会が多くなったので、TOEICのスコアも自然と720点まで上がりました。現在、私の会社には日本語を話すことのできないフィリピン人の技術交換留学生がいますが、大学院でのことを思い出し、彼らと積極的に話すようにしています。これもe³に入ったからできることだと実感しています。



赤堀 弥生さん
フィールドトリップにて(左端が赤堀さん)
横浜ゴム株式会社
2006年3月 工学部資源開発工学科 卒業
2008年3月 大学院工学研究科 環境循環システム専攻
修士課程 修了

就職に強い! 工学部の就職支援体制

北海道大学工学部・工学系大学院の就職率は常に95%以上! 景気に左右されず、安定した就職率の高さを誇っています。工学部では、社会で役立つ高度な専門知識が身に付けられることに加えて、学科・コースごとに就職担当教

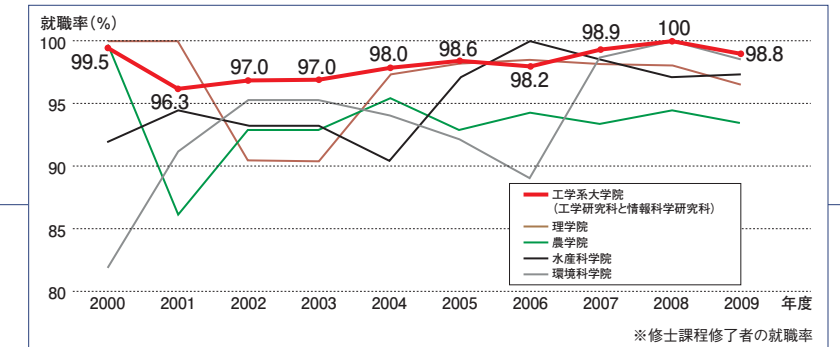
員が配置され、就職支援体制がしっかりしていることもその理由の1つです。皆さんも、工学部で専門知識を身に付け、社会に貢献してみませんか?

95%以上! 不況に強い!! 安定した就職率の高さ!!

就職率の推移&卒業・修了者就職状況

— 就職DATA2009 —

■工学系の就職率の推移



■工学系卒業・修了者就職状況

